

1 保育所等待機児童数の状況

調査時点	定員総数	(A)	(B)	(C) = (A) - (B)	(D)	(E)	(F)	算出区域数
		全申込児童数	保育所等利用児童数	(A)のうち保育所等を利用できなかった児童数	(C)のうち特定の保育所等を希望する者等	(C)のうち企業型利用児童数	(C)のうち待機児童数	
H27.4.1	11,024	11,223	11,059	164	164	0	0	6区域
H28.4.1	11,141	11,351	11,172	179	115	0	64	6区域
H29.4.1	11,831	11,904	11,729	175	147	0	28	6区域
H30.4.1	12,100	12,105	11,964	141	81	4	56	14区域
H31.4.1	12,361	12,292	12,134	158	104	11	43	14区域
R2.4.1	12,403	12,294	12,172	122	89	19	14	8区域
R3.4.1	12,371	12,185	12,068	117	96	20	1	8区域
R4.4.1	12,411	12,008	11,930	78	65	13	0	8区域
R5.4.1	12,376	11,772	11,675	97	72	25	0	8区域
R6.4.1	12,216	11,480	11,390	90	71	19	0	8区域
R7.4.1	12,211	11,014	10,926	88	77	11	0	8区域

(備考)

- ① (B)は、調査時点において、保育所等を利用している児童の数
- ② (C)は、全申込児童数(A)から保育所等利用児童数(B)を差し引いた児童の数
- ③ (D)は、(C)のうち、希望する保育所等の空きが無い児童の数  
(ただし、教育・保育提供区域内には空きがある状態)
- ④ (E)は、(C)のうち、企業主導型保育事業を利用している児童の数
- ⑤ (F)は、(C)のうち、希望する保育所等にも、教育・保育提供区域内にも空きがないために待機となった児童の数

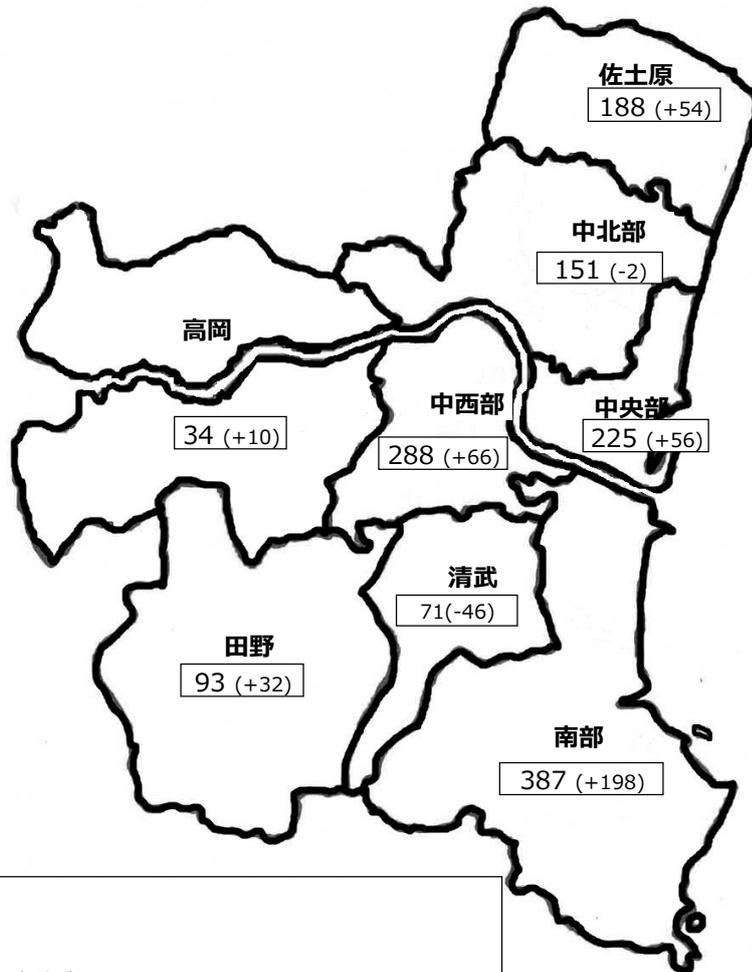
- 平成29年度以前は市内を6区域に分けて待機児童数を算出。
- 平成30年～31年度は、教育・保育提供区域(14区域)で算出。
- 令和2年度からは、教育・保育提供区域(8区域)で算出。

2 教育・保育提供区域毎の状況

なし	8区域	中央部、中北部、中西部、南部、佐土原、田野、高岡、清武
1～5人	0区域	
6人以上	0区域	

待機児童数  
【R7.4.1現在】

受入可能数 (前年比)



【今回の特徴】

- ①待機児童数について  
昨年度に引き続き、本市全域において待機児童数が0となった。
- ②受入可能数について  
全区域で受入可能数に余裕があり、中央部、中西部、南部、佐土原、田野、高岡の6区域においては、昨年より空きが増加した。